

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	強非線形問題と予測性能小委員会	主 査 名：元結正次郎 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築構造における崩壊問題あるいは接触問題といった強い非線形性を有する問題における再現性について、解法、コーディング、入力データおよびコンピュータ・システムの解への依存性などといった観点から情報収集し、現状において如何なる問題が如何なる情報を基に予測可能であるについて実験結果との対応などを含めて整理する。</p> <p>初年度：強非線形問題の事例の収集および今後の方針策定 2 年度：各委員ごとの関連事例のドキュメント作成 3 年度：共通事項の整理とまとめ 4 年度：成果物の最終調整</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：元結正次郎 (東京工業大学) 幹事：大塚貴弘 (名城大学), 熊谷知彦 (東京工業大学) 委員：荒木慶一 (京都大学), 磯崎 浩 (鹿島建設), 小河利行 (東京工業大学), 寒野善博 (東京大学), 多田元英 (大阪大学), 中澤祥二 (豊橋技術科学大学), 長沼一洋 (大林組), 三宅辰哉 (日本システム設計), 宮村倫司 (日本大学), 武藤 厚 (名城大学), 森迫清貴 (京都工芸繊維大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 成果物をまとめるにあたり目次を作成するとともに、各担当を決定した。</p> <p>2. 担当グループごとに執筆するにあたっての方針を報告していただいた。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 成果を刊行するにあたり、社会に受け入れられる内容・表現が課題である。